

宮坂建設工業が防災推進会議

300人参加しゼロ災害誓う

宮坂社長「安全は企業評価の絶対値」



課長が一貫露骨な状況から見ると傾向と対策についてそれぞれ講話した。

このあと、同社の有川進副社長が「労働安全衛生方針・労働安全衛生マネジメントシステム」の説明を行った。

【帯広発】宮坂建設工業（帯広、宮坂寿文社長）は11日、帯広市内の北海道ホテルで二十五年度防災推進会議を開催した。同社社員百二十人と、協力会社二百社から三百人が参加。

宮坂社長は「安全は企業評価の絶対値」と呼びかけ、出席者全員で「一年間の無事故・無災害を誓い合った。」

はじめに宮坂社長があいさつ。「一人ひとりが現場を理解した上で、安全を推進するために知恵を絞り、気付いたことを積極的に報告してほしい。建設業は究極のインフラサービス産業。地域に貢献することで世の中に恩返しするところが使命だと思ってる。安全は企業評価の絶対値で、安全がない会社は今の時代を生きていけない。利益よりも安全や品質の確保に努めることを意識し、こころも業務に臨んでほしい」と呼びかけた。写真。続いて、企業表彰と職長表彰を行ったあと、帯広警察署の栗山文雄交通第一課長が「交通事故防止」、帯広市消防警救課の中村久

最後に建設部の佐々木裕 故・無災害達成を誓い合った。弥氏が安全への決意を表明した。ことし一年間の無事

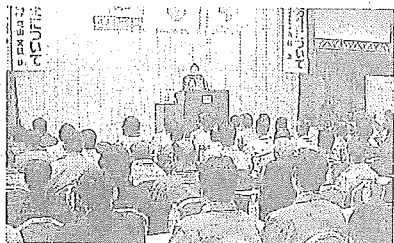
4/16 建設

労働安全衛生方針を確認

宮坂建設工業 防災推進会議

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広）は12日、市内の北海道ホテルで防災推進会議を開いた。協力会社を含めて約420人が参加。労働安全衛生マネジメントシステムの着実な実施などを柱とした労働安全衛生方針を確かめた。写真。

宮坂寿文社長は「労働時間の短縮や業務の効率化、無理のない工事計画の遂行など、安全に対する認識を新たにしてほしい」と呼び掛けた。協力会社や職長への安全表彰の後、帯広警察署



の栗山文雄交通第一課長と帯広市消防署の中村久 緊急課長が講話。栗山課長は居眠り運転の予防やスピードを控えた運転を求めた。最後に統括安全衛生管理者の有川進副社長が、2013年度の労働安全衛生方針や労働安全衛生マネジメントシステムのポイントを解説した。



発行所: 十勝毎日新聞社
〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
電話(代表) 0155-22-2121

2013年(平成25年) 4月19日 金曜日

研修会

◆宮坂建設工業(帯広市、宮坂寿文社長)の防災推進会議

12日、帯広市内の北海道ホテルで開かれた。同社役員、管内や釧路の協力会社関係者らを含む約420



人が参加した。

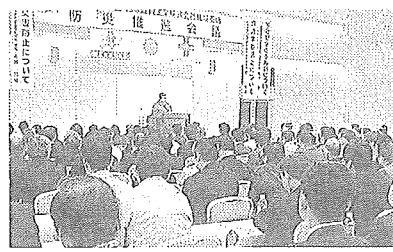
宮坂社長が「利益よりも安全が第一。安全は企業評価の絶対値で、企業の存続につながる。もう一度安全に対する認識を新たにしてほしい」とあいさつした。写真。

安全表彰のほか、帯広署の栗山文雄交通第1課長らによる指導講話、労働安全衛生方針・労働安全衛生マネジメントシステムの説明などが行われた。

安全最優先で ゼロ災害達成を

宮坂建設工業札幌
支店防災推進会議

宮坂建設工業（本社・帯広）は24日、札幌サンプラザで札幌支店防災推進会議を開いた。協力会



4/25 建設

社を含む約320人が、無事故無災害の達成を誓い合った。写真。

宮坂寿文社長は「何よりも安全が最優先。現場は日々変化するが、気付いたことは何でも言つてほしい」と呼び掛けた。

講話では、佐藤尚札幌中央労基署長が「安全に関するルール作りは、本音で取り組むことが大事。それが事故防止につながる」と強調。さらに、札幌北警察署や市北消防

署の担当者が交通安全や火災予防について講演し、同社の有川進副社長は労働安全衛生方針を説明した。

会議に先立ち、北海道神宮で安全を祈願した。

4/25 道通

宮坂建設工業札幌支店

安全最優先を再確認

防災推進会議—320人が無事故誓う

宮坂建設工業（帯広）の札幌支店（佐々木勝幸支店長）は二十四日、札幌サンプラザで二十五年度防災推進会議を開き、工事に携わる一人ひとりの安全意識高揚を図った。

本社店役職員五十人と協力会社百七十社から二百七

社を含む約320人が、無事故無災害の達成を誓い合った。写真。

宮坂寿文社長は「何よりも安全が最優先。現場は日々変化するが、気付いたことは何でも言つてほしい」と呼び掛けた。



講話では、佐藤尚札幌中央労基署長が「安全に関するルール作りは、本音で取り組むことが大事。それが事故防止につながる」と強調。さらに、札幌北警察署や市北消防署の担当者が交通安全や火災予防について講演し、同社の有川進副社長は労働安全衛生方針を説明した。

会議に先立ち、北海道神宮で安全を祈願した。

札幌市北消防署の担当者の講話を聞いたあと、同社の有川進副社長（総括安全衛生管理者）が労働安全衛生方針等を説明し、全員で安全第一の基本を再確認した。

安全成績が優秀だったとして、北海道三祐（株）の本多忠高氏ら職長二人が安全表彰を受けた。

また、会議に先立ち安全祈願祭を北海道神宮で執り行った。社長はじめ役員十八人が参列し、一年間の

無事故を神前に祈願した。同社は「安全は事前に危険の芽を摘み、事故・災害を未然に防ぐ」ことが大切との考えから、安全大会を「防災推進会議」に改称し、帯広本社で平成十年から実施。札幌支店では従来「安全研修会」を開催してきたが、協力会社数が増加したため二十二年度から防災推進会議に切り替えた。